

藤沢づくりのめざす9つの方向性

市民のみなさん、地域のみなさんと行政が、都市ビジョンを実現していくため、いまからはじめる9つの「藤沢づくりのめざす方向性」をいちづけました。

これらの方向性にもとづき、基本計画では、「ふじさわ未来課題」と具体的なまちづくりの目標や政策などについて、また、実施計画では、具体的な事業や活動を明らかにしたくわしい取り組みが位置づけられています。

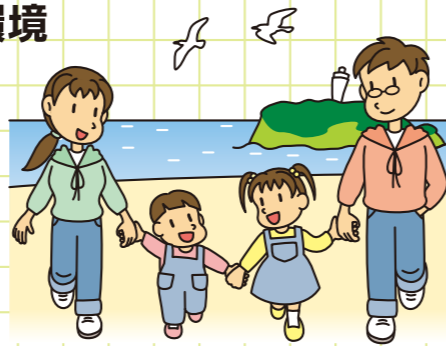
1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や資源を活かし、地域をよりよい環境にするために、地区ごとに「その地区らしさ」を活かした地域経営をすすめます。行政は経営改革をすすめ、新たな行政システムにより、市民のみなさん、そして地域のみなさんとともに、市民が主体となるまちづくりをめざします。



2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

安心して子どもを産み、育てられる子育て環境と、市民のみなさんが求める教育環境を家庭・地域・学校とが協力し合いながら環境を整え、さらによりよいものに発展させます。



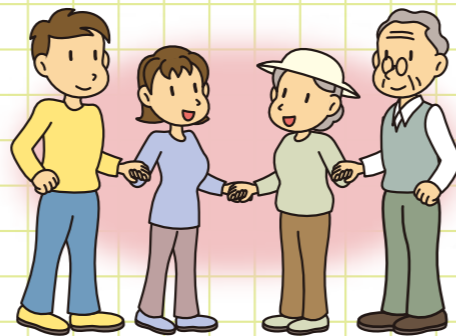
3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

一生安心して暮らせる保健・医療(介護)・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害などへの不安をなくす地域社会をつくりまします。また、身体(からだ)の健康だけでなく、こころも健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる健康づくりをすすめていきます。



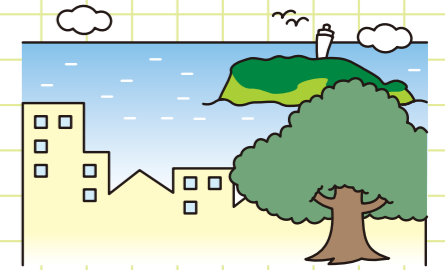
4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民のみなさんが差別や偏見をもつことなく、おたがいを認め合い、いつしよに生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境をつくっていきます。そのために人権を尊重し、男のひと、女のひと、お年寄り、障がいのあるひと、若いひとなどもふくめ、みなが積極的に参加できるまち、さらにいろいろな文化がともに生きる穏やかなまちをつくりまします。



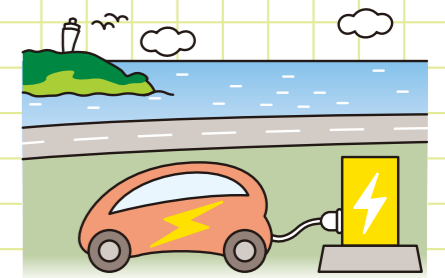
5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢には、豊かな自然環境や景観、また歴史・文化資産など、これまで引き継いできた大切な地域資源があります。そうした地域資源をさらに守り育て、もっと知ってもらい、子や孫まで受け継がれるまちをつくりまします。



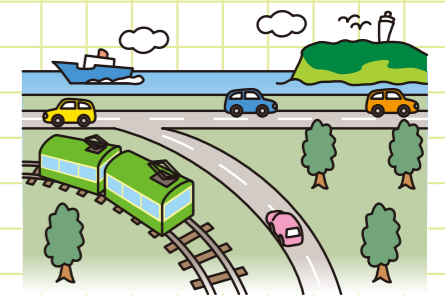
6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題にも地域で取り組み、いつの時代でもゆたかな環境を維持し活力のあるまちをつくりあげていきます。また、地域の大学や企業の力を活かし、行政といつしよに、すすんだ環境技術を生み出す産業のしくみや、環境にやさしい都市システムをつくり出していきます。



7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活に必要な都市の機能を高めるため、市の中心的な役割をになう新たなまちの整備や、道路や鉄道などの公共交通をととのえ、それぞれネットワークでつなげていきます。また、市の産業を活性化し、市民のみなさんの働く場をふやし、地産地消^{※7}をすすめるため、商業、工業、観光、農水産業などにおいても、市民・市民ボランティア・NPO・大学・企業などと行政が協力し、まちの活性化をすすめます。



8 公共資産の維持管理と有効活用

古くなったり、利用されなくなったりした公共施設をつくりかえるときに生じる、市の土地や施設の上手な活かし方を考えまします。そのために、いまある施設がどのくらい使えるか、利用されているか、どんな設備や補修が必要かなどを検討して、ムダのない活かし方を考えまします。



9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境や文化などの「湘南らしさ」が活かされた魅力的な暮らし方「藤沢ライフスタイル」や、新しい湘南の文化をつくっていく「湘南カルチャー」を広めていきます。そして、市民ひとりひとりが豊かな心を育み、地域と世界をつなぐ国際交流などをおこないながら「文化にふれあう交流のあるまち」をめざまします。



メモ ※7 地産地消：その地域でつくられた農産物や水産物を、その地域の中で消費することです。